

加能作次郎 いぬり せつじ 小説家。明治十九年一月（戸籍十八年一月十日）

石川縣生乳、昭和十六年八月五日歿（二六六一九四二）。明治四十四年早

稻田大學文學部英文科卒。大正二年博文館入社、雜誌『文章世界』記

者、主筆を経て十年退社。

著譯書『世の中へ』（大正八年二月）『二十一日新潮社』、『歌の音』（大

正八年十二月七日新潮社「新進作家叢書」）、『十六人集』（片上 相馬御

伸 編、大正九年二月）『二十五日新潮社』、『寂しき路』（大正九年八月

二十日聚英閣）、『支那人の娘』（大正九年十月十日學藝書院「現代

傑作選集」）、『若き日の』（大正九年十月十四日新潮社）、『小夜子』

（大正十年七月九日新潮社）、『處女時代』（大正十年十月十八日天

佑社）、『傷ける群』（大正十年十一月十日新潮社）、『世の中へ』

（大正十一年五月）『二十八日新潮社「中篇小説叢書」）、『祖母』（大

正十一年九月）『二十日金星堂「金星堂名作叢書」）、『花枕』（合著。

後藤誠雄編、大正十二年二月）『二十五日聚英閣「現代傑作選集」）、『こ

れから』（大正十二年四月十八日近代名著文庫刊行會「近代名著文

庫」）、『幸福』（大正十二年五月八日新潮社）、『早稻田文藝大

觀・第一卷「小説集・上巻』（合著。長谷川大發 正京、白鳥編、大正十二年八月

五日實業之日本社）、中山宇平治遺稿・歌集『砂上偶語』（編、大正

十二年七月七日素人社）、『少年の頃・上巻』（合著・小野誠悟編、

大正十四年四月）『二十日第一出版協會「少年少女文學叢書」）、『弱過

ぎる』（大正十四年五月十五日新潮社「短篇シリーズ」）、『好日記

行「旅の隨筆集』（合著・大草實編、昭和十二年四月、二十五日矢の倉

書店）、『祖國認識の旅』（合著、昭和十二年十一月）（ジャン・リット・ド・ロー 日本旅行協會）

ヘンリック・シェンクウイッチ作 『青春の白・二人の女』 (太田映太
モオリス・メーテユリンク作 『青春の白・二人の女』 (太田映太
郎共譯、昭和十六年五月、千代今日の問題社「ノーミズ賞文學叢書」)、
『乳の匂ひ』 (昭和十六年八月、千代今日の問題社)、 『世の中へ』 (昭
和十七年十一月、白櫻井書店) 等。